

弥富市事務事業評価シート 平成28年度実施事業対象

PLAN	No.	43	事務事業名	商工業振興資金事業	細事務事業名	商工業振興資金事業	公的関与	9	シート作成日	平成29年6月29日						
	課名	商工観光課		グループ	商工	担当課長名	大河内 博		シート作成者名	栗本卓典						
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 整備事業		<input type="radio"/> 5 施設の管理運営		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 3 全部委託						
		<input type="radio"/> 2 施設の建設		<input type="radio"/> 4 経常的事務事業					<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助等						
	総合計画	政策目標	5 豊かで活力に満ちたやとみ			実施計画		事業の開始・終了								
		施策項目	商業の振興			<input checked="" type="radio"/> 1 該当		年度 ~ 平成	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし						
		主要施策	近代化・魅力的な商業活動の促進			<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等 小規模企業等振興資金制度要綱								
	個別計画															
	事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どういう状態にしたいのか)										
		中小規模商工業者				金融機関との取引の薄い中小規模の商工業者の事業に必要な資金調達を円滑にすることにより、その経営の安定・振興を図ります。										
事業の内容	中小企業者の資金調達の円滑化を図るため、愛知県と協調し、市内・近隣9店舗の金融機関に融資の原資を預託し、その借入申込の窓口業務を行います。															
成果指標	①	指標名	制度利用事業所数				②	指標名								
		指標設定の考え方	市内の中小規模の商工業者の円滑な資金調達を目指す観点から、制度利用事業所数を指標とします。					単位	所	指標設定の考え方						
		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	目標平成 30 年度	平成 27 年度		平成 28 年度	平成 29 年度	目標平成 30 年度						
		実績	69	実績	53	目標		70	目標	70	実績		実績		目標	
		目標	70	目標	70	目標			目標		目標		目標		目標	
DO	予算費目	会計	一般会計		款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工振興費						
			平成 27 年度決算額			平成 28 年度決算額			平成 29 年度予算額							
	直接事業費	国・県支出金			千円			千円			千円					
		地方債			千円			千円			千円					
		その他特定財源			千円			千円			千円					
		一般財源	40,000		千円	40,000		千円	40,000		千円					
		計(A)	40,000		千円	40,000		千円	40,000		千円					
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.250		人	0.250		人	0.250		人					
		臨時職員工数・経費			人	0		千円	人		0	千円				
		全体事業費(A+B)	41,725		千円	41,725		千円	41,725		千円					

		チェック項目					一次評価			一次評価の説明			二次評価		
							○	●	○	●	○	●	○	●	○
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は少ない。					○	●	中小企業等の育成・振興を図るうえで必要です。結果として商工業等の発展につながれば、税収の増加が見込まれます。			○	●		
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性がない。					○	●				○	●		
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					○	●				○	●		
		4. 住民ニーズの低下がみられる。または、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					○	●				○	●		
CHECK	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					○	●	中小企業者の経営基盤の安定を図るうえで、融資支援は必要です。			○	●		
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					○	●				○	●		
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					○	●				○	●		
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					○	●				○	●		
CHECK	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っている。					○	●	厳しい経営環境の中、中小企業者の資金の融通が円滑に図られています。			○	●		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていない。					○	●				○	●		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成している。					●	○				●	○		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成している。					○	●				○	●		
CHECK	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					○	●	厳しい経営環境から中小企業者を守り、経営の安定・強化を図るうえで有効です。			○	●		
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					○	●				○	●		
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					○	●				○	●		
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					○	●				○	●		
ACTION	一次評価					二次評価									
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価				
		4	4	3	4	A	4	4	3	4	A				
	今後の方向性	● 拡大・充実 ○ 縮小	○ 現状維持 ○ 統合/終期設定	○ 方法改善 ○ 廃止/休止	○ 民間委託等		● 拡大・充実 ○ 縮小	○ 現状維持 ○ 統合/終期設定	○ 方法改善 ○ 廃止/休止	○ 民間委託等					
	当面の課題	中小規模の商工業者が、事業に必要とする資金の融通を円滑にするため、継続することが必要です。					二次評価での指摘事項(部長の総括意見)								
	課題解決のための改善計画	国の低金利政策により金融機関の融資制度に流れている傾向があるが、中小規模の商工業者の経営の振興を図るために、事業を継続します。					商工業者特に小売業者等については、大型量販の進出及び後継者不足等により活力が低迷しているが、中小規模の商工業者の資金融通を円滑にすることにより、その経営の振興を積極的に推進する必要があります。								
備考															